



🌱 みんなで考えよう、まちのこと

町政懇談会で話し合われること

自立プラン

羽幌町は苫前町・初山別村との合併協議が不調に終わったことを受け、しばらくの間合併しないでまちづくりを進めていくことに決めました。しかし、これからは国からもらえる地方交付税や補助金といったお金が少なくなるので、今までどおりのサービスを続けていくのは難しくなり、思い切った見直しが必要となります。そのため羽幌町では、合併しないでまちづくりを進めるためにはどんな取り組みをすればいいのかみんなで考えるために「自立と共生へのまちづくり計画」(通称：自立プラン)を作成しました。

このプランでは、羽幌の将来がどのようになっているか財政的数値をもとに推計されており、これからの羽幌を考えるためにとても重要なものです。

今回の説明会では、昨年の10月に全世帯にお配りした自立プランのダイジェスト版「自立プランのこと教えてください」の内容を中心に説明します。

自立プランのこと教えてください



将来の人口推計・地方交付税の推計・収入に占める地方交付税の割合・基金(貯金)総残高の推計・補助費等の推計・事務事業の見直し・起債(借金)残高の推計。今後10年間に予定されている大型事業・職員給与の推計・職員の資質を進める5つの原則・町民協働のイメージ・自立をめざすまちづくり3つの目標と6つの基本・財政シミュレーション

町民提案制度

自立と共生のまちづくりを進めるためには、役場とみなさんが一緒に考えて責任分担しながら連携して取り組む「町民協働」という考え方が重要になります。そのために、町民のみなさんのアイデアや企画、意見などを積極的に取り入れられるような制度をつくりました。この制度は町民や企業、産業団体などから提案された「まちづくりを進めていく上での課題」や「地域の課題、解決に対するアイデア」などを、民間の委員で構成されたまちづくり組織「まちづくりはぼろ」などが審査した上で、行政に反映するというものです。

これからは行政と町民が協働しながら地域の課題を解決していく、あたらしいまちづくりの形を目指していきます。

町民提案制度の活用事例案

- ・町が実施しているA事業を、関係団体であるBクラブが主体となって実施する。
- ・C施設の運営業務は、利用者団体であるD会が実施する。関係団体などが実施することにより、充実した内容ときめ細やかなサービスが提供でき、職員の人件費削減などの効果が期待できる事業。

フリートーク

普段から気になっていることや、どうしても聞いておきたいことなど、町政に関して自由にご意見をお寄せください。

開催します

町政懇談会 自立プラン住民説明会

8月8日 **水** 川北老人福祉センター 2階ホール
午後7時から(午後8時30分ごろ終了予定)

8月9日 **木** 中央公民館 1階小ホール
午後7時から(午後8時30分ごろ終了予定)

町政懇談会は、地域のご要望などを町長とひざを交えて意見交換する場です。

今回は羽幌町が自立の道を歩むための考え方を示した「自立と共生へのまちづくり計画」(通称：自立プラン)の内容と、町民や団体などからの提案を行政に反映させるための「町民提案制度」の説明を行います。

地方がいま直面している財政問題などからも、これまでの行政サービスを継続することは相当厳しい状況となり、自立に向けた歩みを進めるためには、「自らのまちづくり」に向けてそれぞれの役割を果たすことが重要となります。今回ご説明することは、これからのまちづくりを進める上で大事なことばかりです。大変お忙しい時期とは思いますが、ぜひ町政懇談会にご参加いただき、これからの羽幌の将来や町民としての役割について考えてみてください。